



京都大学防災研究所
平成 24 年度公開講座

日 時 ●平成24年 9月 20日 (木)
10時00分～17時00分

場 所 ●キャンパスプラザ京都
(京都市下京区西洞院通塩小路下る)
5階 第1講義室

受 講 料 ●2,000 円 (テキスト代及び消費税を含む)
※学生は無料 (申し込みは必要です)

定 員 ●200 名

申込方法 ●電子メールまたは往復ハガキにて、郵便番号、住所 (連絡先)、氏名・ふりがな、年齢、職業 (勤務先) [学生の場合は学校名及び学年]、電話番号を明記し、また、往復ハガキの場合は返信ハガキに宛名 (郵便番号、住所、氏名) を記入の上、申し込んでください。

※住所等の個人情報は、当公開講座以外の目的で使用することはありません。

申 込 先 ●〒611-0011 宇治市五ヶ庄
京都大学 宇治地区事務部
研究協力課研究支援掛
電話 0774-38-3350
電子メール・アドレス

kokai24@dpri.kyoto-u.ac.jp

締 切 日 ●平成 24 年 9 月 4 日 (火) 必着
※平成 24 年 9 月 12 日 (水) までに結果をご連絡します。期日までに連絡がない場合は、上記申込先までお問い合わせください。

※本講座は土木学会CPDプログラムとして認定されています。



巨大災害にどう立ち向かうか

「巨大災害にどう立ち向かうか」をメインテーマとして講座を開催しております。昨年 3 月に発生した巨大地震・津波をきっかけとする東日本大震災は、大きな衝撃を社会にもたらしました。東日本の被災地では、今も、復旧・復興へ向けた取り組みが進められています。また、直接的な被害を受けなかった西日本を中心とする地域でも、南海トラフの地震など巨大災害に対する備えについて社会的関心が高まっています。さらに、大規模な地盤災害、竜巻災害など、近年、新たに社会の注目を集めている災害もあります。このような状況を踏まえ、サブテーマを、「東の復興、西の備え」としました。巨大災害の発生から約 1 年半を経た「東」の今、および、新たな巨大災害への対策を進める「西」の現状を、地震はもとより、建造物、地盤災害、大気・水災害、そして社会の防災力、それぞれの専門家がわかりやすく解説いたします。

- 開会の挨拶 所 長 中島 正愛
- 東北地方太平洋沖地震の教訓を
来るべき南海トラフ巨大地震の予測に活かす
教 授 澁谷 拓郎
- 東日本大震災復興計画と来るべき西日本大震災対策
教 授 田中 仁史
- 深層崩壊の実際と予測
ー特に 2011 年台風 12 号によるものを中心としてー
教 授 千木良雅弘
- 天然ダムの話
ー安定性の評価と決壊時の洪水規模予測ー
教 授 中川 一
- 情報通信技術の高度化と災害対応への応用
ー新たな可能性と実現のための課題ー
准教授 畑山 満則
- 総合討論 司会: 教 授 矢守 克也

東の復興

西の備え

開催場所ご案内
キャンパスプラザ京都
京都市下京区西洞院通
塩小路下る
電話 (075) 353-9111



経路ご案内

- JR・近鉄「京都」駅下車 烏丸出口から徒歩 5 分
- 地下鉄「京都」駅下車 北側改札口から徒歩 5 分
- 市バス「京都駅前」下車徒歩すぐ



防災研究所 HP

<http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/>